

令和 7 年 11 月 吉日
学校法人ノートルダム清心学園
清心中学校・清心女子高等学校
校長 松沢克彦（公印省略）

令和 7 年度 S S H 授業研究会について（二次案内）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本校は、平成 18 年より S S H 研究指定を受け、女子の理系支援を促すためのカリキュラム研究、各種の研修や課題研究などさまざまな事業に取り組んで参りました。5 年前に第 4 期の指定を受け、さらに生徒の主体性を育み、深い学びへと導く手法について研究を進めております。このたび S S H 事業として、課題解決に繋げるための 3 つの思考法に基づいた授業について研究授業を公開いたします。

つきましては、校務ご多用のこととは存じますが、多数の皆様にご参加いただき、ご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

記

1. 日時 令和 7 年 12 月 17 日（水）12:50 ～ 16:40
2. 場所 ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校
3. 時程 12:20～12:50 受付 記念館 1 階
12:50～13:10 全体会（記念館 2 階会議室）
13:10～13:55 5 限 研究授業①
14:05～14:50 6 限 研究授業② ※裏面をご覧ください。
15:00～15:50 講演会
演題「新しい問いをクリエイションする探究活動」
講師：岡山大学学術研究院教育学域 教授 清田 哲夫 氏
16:00～16:30 研究協議
16:30～16:40 閉会行事
4. 参加形式 来校
5. 申込み 裏面の QR コードから必要事項を入力してください。
または参加申込書に必要事項を記入し、FAX で送信する、あるいは同内容を下記のメールにお送り下さい。
6. 連絡先 清心中学校・清心女子高等学校 Tel : 086-462-1661 Fax : 086-463-0223
E-mail : hashioka@nd-seishin.ac.jp（担当 橋岡）

本校第 4 期 S S H における S S H 研究授業のテーマは「課題解決に繋げるための、論理的思考（ロジカルシンキング）・批判的思考（クリティカルシンキング）・水平思考（ラテラルシンキング）を意識した授業展開」としています。これら 3 つの思考法を授業の中で組み合わせ、多様な発想の下で多面的な見方ができる力の育成を目指しており、その授業研究の成果を公開致します。このような授業改善と、さらには高大連携実習や課題研究の実施、科学系クラブ活動の充実と合わせて、次世代を担う科学技術系女性人材の育成を目指しています。さらに講演会においては、岡山大学の清田哲夫氏をお招きして、「新しい問いをクリエイションする探究活動」という演題でお話ししていただきます。

【各教科の公開授業概要】

<研究授業①13:10～13:55>

●地理歴史：「地理総合」（高2）担当：香川嗣治

概要：「環境と民族衣装について考える」

地理では人々の生活文化で、環境（自然・社会）と民族衣装の関係を取り扱っています。しかし現在では民族衣装の着用は特別な場合に限られることも多く、普段は洋服を着ることが多くなっています。民族衣装と現在のファッションから環境と衣装について考察します。

●数学：「数学B」（高2）担当：相山優衣

概要：「等比数列とその和」

数列は数学の他分野にも関連する重要な概念です。複利計算を題材に取り上げることで、数列に面白さを見出し、深く追究したいと思えるよう印象づけたいと思います。また、問題を解く上で公式や解法は必要なものですが、それに頼り切ることなく生徒自らの感覚や考えで問題を解決することを目指します。

●理数：SSH 学校設定科目「SS 課題研究基礎」（高1）担当：橋岡源九郎、川崎俊

概要：「岡山県が抱える課題～私たちが考える解決策～」

既習したデータの読み取りや、論理的な文章の読解と執筆、それらをもとにグループで岡山県の課題「人口減少」「観光」「地域経済」「医療・福祉」「環境」「災害」「インフラ」「公共交通」の中から1つを選び、データや自治体の成功事例などをもとに考察し、その解決策を考え、発表します。

<研究授業②14:05～14:50>

●国語：「古典探究」（高2）担当：太田奈津子

概要：「『追憶』の表現を知る—『土佐日記』『羽根』の読解を通して—」

『土佐日記』『羽根』の読解を通して、作品の重要な主題のひとつである「亡児追憶」の表現について学びます。和歌はもちろん、本文中の細かな描写から豊かな表現を読み取り、その表現がどのような効果を生み出しているのか論理的に思考し、言語化することを目指しています。

●理科：「生物基礎」（高1）担当：池田理佐

概要：「生きた細胞で見る 微小管の動き」

生物基礎「生物の特徴」の発展学習です。生きた原生生物を教材に、静止画では分からない「生きた細胞」の姿を観察します。微小管のダイナミックな動きから、細胞の動的な姿と生命の共通性について実感を伴った理解を図ります。

●総合的な探究の時間：学校設定科目「アートサイエンス」（高2）担当：田中福人

概要：「光をデザインする授業 — 干渉・回折がつくる構造色アート」

学校設定科目「アートサイエンス」では理工×芸術をテーマに授業を行っています。今年度は光の干渉や回折が原因で生み出される「構造色」をテーマに、構造色を自らの手で生み出す探究授業を公開します。構造色の原理を理解するとともに、創造性を高めることをねらいとしています。

【講師および講演会について】

○講師：岡山大学学術研究院教育学域 教授 清田 哲男先生

○講演テーマ「新しい問いをクリエイションする探究活動」

○講師紹介：清田 哲男

1993年神戸大学卒業。

2012年岡山大学大学院修士課程修了。

2015年兵庫教育学大学院博士課程修了。博士（学校教育学）。

1993年より兵庫県公立中学校・高等学校教諭

2009年より川崎医療福祉大学医療福祉デザイン学科講師

2014年より岡山大学大学院教育研究科講師を経て現職。

2018年より岡山大学大学院教育学研究科教育科学専攻において、修士課程のPBLプログラム開発と運用。

2022年より岡山大学大学院教育学研究科附属国際創造性・STEAM教育開発センター（CRE-Lab.）において、クリエイティブ・エドューケーター育成プログラム開発と運用を行っている。

2019年より小、中、高校の先生方とANCS（創造性が社会と出会う造形教育）を主宰し、関西圏、岡山県を中心に「大人の造形遊び」等イベントや、アートプロジェクト「STartLE」を運営し、おもしろいと学びをアートで結ぶ活動を行っている。



清田哲男研究室 アート×創造性プラットフォーム

URL : <https://kiyota925.wixsite.com/my-site-2>

○講演の内容

近年、総合的な探究の時間だけでなく、STEAM教育やウェルビーイング教育などの考え方が広まっています。これらは、未知の環境の中で、未来や社会を「幸福に生きていくため」に自分で進むべき学びの方向を決めていく学習の一つの在り方です。

高校での探究活動は、自分や仲間、そして多くの人の幸福のために何ができるかを考える大切な学習とも言えます。そのためには、まず高い理想、言い換えますと「夢」を持つことが大切です。その「夢」の達成のために、新しい問いのクリエイションが必要です。問いをつくることの大切さを一緒に考えてみましょう。

【本校へのアクセス】

- ・倉敷インターチェンジから岡山方面に10~15分（校内に駐車スペースがございます）
- ・JR中庄駅からタクシーで10分



[別紙様式]

ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校

令和7年度SSH授業研究会 参加申込書

学校 (所属)	学校名： (所属名)
	TEL：

職名	参加者名	教科	研究授業(参観希望に○をお付けください) ※複数回答可
	代表者 E-mail ()		古典探究 ・ 数学B ・ 地理総合 生物基礎 ・ アートサイエンス SS 課題研究基礎
			古典探究 ・ 数学B ・ 地理総合 生物基礎 ・ アートサイエンス SS 課題研究基礎
			古典探究 ・ 数学B ・ 地理総合 生物基礎 ・ アートサイエンス SS 課題研究基礎
			古典探究 ・ 数学B ・ 地理総合 生物基礎 ・ アートサイエンス SS 課題研究基礎

12月12日(金)までに右のQRコードか、FaxまたはE-mailでお申し込み下さい。

Fax : 086-463-0223

E-mail : hashioka@nd-seishin.ac.jp

